

令和5年2月9日

松阪市議会議長  
山本芳敬 様

海住恒幸

## 研修参加報告書

研修会 第29回議員力研究会

期日 令和5年2月4日（土） 13時30分～17時

会場 新明コミュニティセンター（名古屋市中村区名駅3丁目17  
-14、最寄駅:近鉄名古屋駅）

参加者 愛知、岐阜、三重、奈良の各県の市議会議員9人

研究会は、東海3県+奈良県の有志の市議会議員10人がメンバーの会員組織。常任の講師として、岐阜県多治見市の幹部職員時代、市長マニフェスト・サイクルに基づく総合計画の策定にかかわるなど、特徴ある市政を実務者として支えた青山崇氏（自治体学会会員、東海自治体学会役員）を迎えている。開催は議会の定例月ではない月に、年度に4～5回。名古屋市内を会場としている。コロナ禍のもとではリモート開催や、会場参加とリモート開催の併用もあった。第29回は参加者全員が会場参加となった。

### 1. 事例発表

(1) 松阪市の「市民病院のあり方について」(令和4年12月の一般質問)

(報告者 松阪市議会議員 海住恒幸)

昨年9月下旬、松阪市民病院に名古屋地検特捜部が捜査に入り、院長の秘書(会計年度任用職員、37歳・女性)が逮捕された。一般質問では、容疑(物品発注で自ら関与する会社を通し利ざやをあげたことによる背任=病院に損害を与えた疑い)は外した。むしろ、院長の「意向」と思われる物品の発注・購入の財源と見られる「治験費」(病院会計の「その他医業外収入」と呼ばれる公金の使われ方の実態を明らかにすることを目的とした。まずまずの成功例であったと考える。しかし、事件の背景となった病院の管理運営を正していく目標には遠い。そこに持っていくための課題を明らかにしたい。

(2) 愛知県日進市の「道の駅」建設の議論の方向性について

(報告 愛知県日進市議会議員 舟橋よしえさん)

都市型の「道の駅」を造るということであるが、日進市の産品はコメしかない。道の駅として何をどうウリにしていくのか内容が明らかでないのに、市は進めようとしている。議員として事業化に反対はしてきたが、関連予算が議決されて

いる中、議会としては事業化にゴーを出したことになる。しかし、市民への説明は全くない。今年4月には統一地方選があるので論戦はしていく。

### (3) 岐阜県各務原市の新体育館建設問題

(報告者 岐阜県各務原市議会議員 杉山元則さん)

現在ある体育館の取り扱いも、また、新たに建設しようという体育館の基本的な計画も決まっていないのに、事業費だけ120億円と決まっているそうである。議会において市長に説明を求めても答弁はない。これに限らず、市長は議会で答弁をしないらしい。

今回は次のやりとりがあったという。

杉山議員 「市長が直接市民に説明する機会を持つべきではないか」

市(職員)の答弁 「われわれ職員は、身分は違いますが、心の中では市長のつもりになって働いています。市長が『直接』ということで最たるものが、先日、小中学生を対象にした新体育館についての夏休みの作品の表彰式がありました。その後に子どもたちと保護者がツーショットの写真が撮りたいからと並んでいました。市長は次の公務がありましたが、全員の方と写真撮影をしました。市長と写真が撮りたい、まさに市民に近い市長だと、職員の間でも誇りに思いました。そのように市長は市民に直接訴えかけています」

## 2. 意見交換

議員のなり手不足を解消することを目的に、地方自治法施行令の一部改正により、議員個人が当該地方公共団体から年300万円以内なら業務を請け

負うことを可能するパブリックコメントが2月13日まで実施されているが、これについてメンバーはどう思うかとの問題提起があり、意見を交わした。

競争入札となる高額な契約ではなく低額だから良いというものではなく、少額な随意契約の方がむしろ議員と行政の癒着、馴れ合いをもたらす可能性がある。議員のなり手不足解消という目的のためにこの部分から取り組む意図がわからないなどの意見があった。

次回は、大半のメンバーが改選を迎える統一地方選後の5月開催となる。

以上